

# 令和8年度の**予算**決定

ふるさとの**恵み**と**誇り**を**未来**へ

3月定例会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、令和7年度八女市一般会計補正予算(第6号)のほか、条例の制定及び一部改正、令和8年度八女市一般会計予算などが提出され、いずれも原案どおり可決・同意しました。令和8年度の各会計の当初予算は下記の表のとおりです。

※議案の賛否表は18~20ページ

## ▼令和8年度各会計の当初予算

区 分		予 算 額
一 般 会 計		479億円
特別会計	国民健康保険事業費	82億6997万円
	介護保険事業費	81億4929万円
	後期高齢者医療	15億1078万円
	矢部診療所	9405万円
	黒木町串毛財産区	75万円
	黒木町木屋財産区	330万円
企業会計(水道事業)		18億5281万円
企業会計(下水道事業)		21億6468万円

# 3月 定例会

## 用語解説

**民生費**：児童、高齢者、障がい者等の福祉に要する費用等

**総務費**：全体的な管理事務、財政・会計管理事務に要する費用等

**土木費**：道路、河川、公園など公共施設の建設整備の費用

**公債費**：借入金の元本や利子などの返済費用

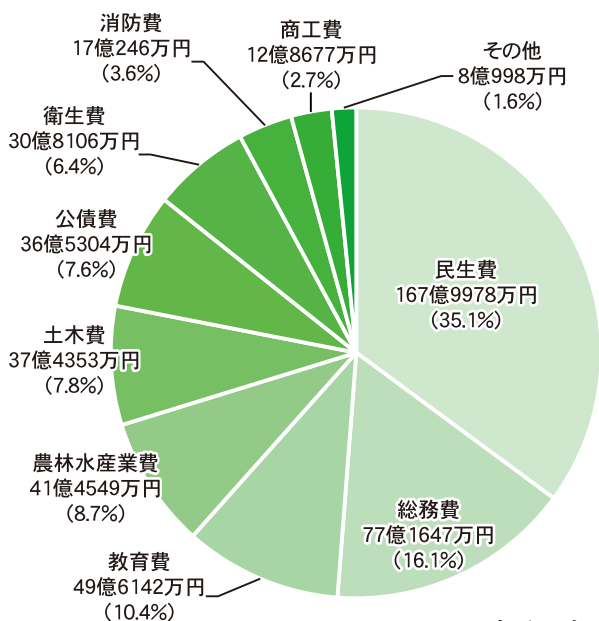
**衛生費**：一般廃棄物の収集・処理など公衆衛生の費用等

**地方交付税**：地方間の格差をなくすため国が配分するお金

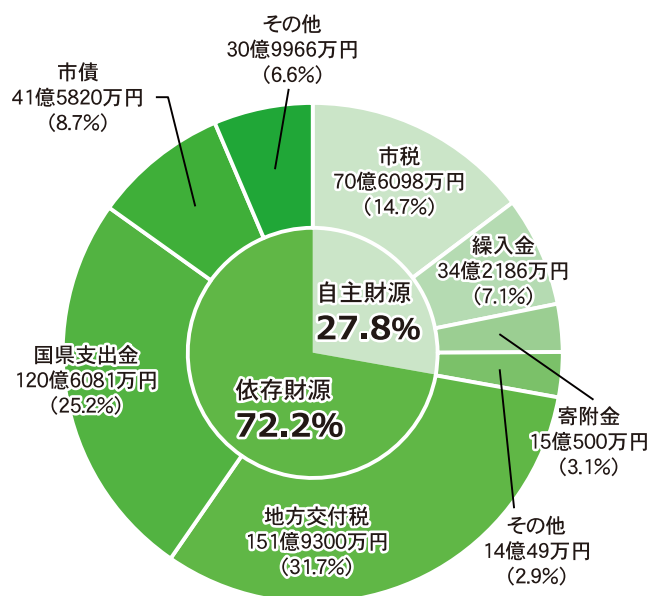
**国県支出金**：特定の事業のため国や県が市に出す交付金

**市債**：事業の財源に充てるための借金

## 歳出 (支払うお金)



## 歳入 (入ってくるお金)



令和8年度一般会計予算  
**479億円**

(表、円グラフの予算額は、千の位を四捨五入)

## 小学校屋内運動場空調整備事業

予算額:2192万円

新規

指定避難所の小学校体育館については、災害時の避難所機能強化と地域防災力の向上を図るためパッケージエアコンを導入し、指定避難所以外の小学校体育館については、選定した2校で移動式スポットエアコンのレンタルによる実証を行い、その結果をもとに導入を検討する。



### 質疑のポイント

**問** エアコンの指定避難所体育館への導入は理解できるが、どの学校にも平等に設置できないか。

**答** 理想としては、全校にパッケージエアコンを導入したいが、指定避難所以外の体育館では補助率が異なるという課題がある。災害時に避難者が生活する空間をできる限り、快適な環境にするため、指定避難所体育館にパッケージエアコンを整備したい。

## 政策形成推進事業

予算額:2204万円

拡充

2040年ビジョンの策定に向けて、市民や企業・団体と共に「なりたいまちの姿」を描く対話の場である「未来共創会議」を運営する。また、職員の政策形成・実行能力の向上と、外部人材を活用しやすい環境づくりを実施し、政策課題の解決につなげる。

### 質疑のポイント

**問** 2040年ビジョン策定の目的は。

**答** 1つ目は、市政運営の長期的な「指針」となること。2つ目は、市民と将来像を共有する「共通言語」として、まちづくりへの参画や共働を促すこと。3つ目は、目指す姿を明示して企業誘致や投資を呼び込み、地域経済を活性化させることである。八女市 2040年ビジョンを市が目指す戦略的ゴールと位置づけ、総合計画に基づき足元の施策を着実に実行していきたい。

## シニアクラブ連合会活動促進事業

予算額:297万円

シニアクラブ活動の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、長寿社会の実現と老人福祉の向上に資するもの。シニアクラブが行う事業に対して支援を行う。

### 質疑のポイント

**問** 増額を要望していたが、あまり上がっていないのでは。

**答** シニアクラブ連合会各支部に、これまでの会員1人当たり72円から98円増額し、170円で計上した。しかし、会員的人数が減っているため補助金の総額への反映が少ない。他にも、各シニアクラブに会員1人当たり300円を400円に100円増額して計上している。



## 学校給食特色化事業

予算額:2億7871万円

新規

給食費負担軽減交付金を活用し、学校給食費の負担軽減及び給食の質の向上を行う。栄養バランスのとれた給食を提供すると共に、食育を推進し地域の文化や農業について学び、郷土愛を育む。

### 質疑のポイント

**問** 具体的な内容は。

**答** 子どもたちの記憶に残る給食の提供に取り組みたいと考えている。この事業は、今後、教育委員会だけでなく全庁から希望する職員を募って推進する予定である。





## 小児救急医療支援事業

予算額: 105万円

新規

八女筑後医療圏で対応できない時間帯の受診先となっている久留米小児救急センターは、近隣自治体の負担金や受益自治体からの協力金により運営されている。令和8年度より久留米広域小児救急医療支援事業の経費の一部を負担割合に応じて支援する。

### 質疑のポイント

**問** 事業の内容は。

**答** 八女筑後医療圏の小児救急は公立八女総合病院と筑後市立病院において、八女筑後医師会の協力により診療されているが、平日の22時までの対応である。それ以降の23時までは久留米広域小児救急センターに受診する人が多いことから、本市の診療体制を充実するもの。

## 各種検診・健診事業



予算額: 9496万円

拡充

特定健診における市独自の追加項目を実施することで、市民の健康増進、健康寿命の延伸を図る。令和8年度には、特定健診をはじめ、後期高齢者健診、20歳代30歳代健診の個人負担金を無料化することで受診しやすい事業とする。また、健康ポイントは終了する。

### 質疑のポイント

**問** なぜ、健康ポイントを終了するのか。

**答** 特定健診の受診率向上に大変効果があった。しかし、近年の状況として、ポイント申請者数の伸びに比べて、受診率の伸び率はわずかであり、効果が低くなっている。今後は福岡県のアプリの活用も視野に入れ、市民全体の健康づくりに役立つような新たな企画を考えたい。

## 道路維持事業

予算額: 4億1567万円

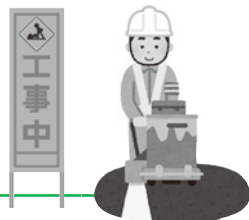
一部新規

道路を整備し、通行の安全を確保するための維持管理経費。

### 質疑のポイント

**問** 八女市道維持補修工事（アメニティ・ロード事業）（新規）とは、どのような事業か。

**答** 立花・黒木・上陽・矢部・星野の各地区において土木業者と半年ごとに単価契約を結び、道路補修や倒木の伐採など、緊急を要する場合に早急に発注・施工ができるようにする。まずは試行的に、高齢化と市道の老朽化が進む中山間地域で取り組み、旧八女地区においても導入したい。



## 乳児等通園支援給付事業

予算額: 1721万円

新規

保育所等に在籍していない0～2歳の子どもが、保護者の就労要件を問わず、月10時間まで、希望する保育所等に通園することを支援するもの。令和8年度から、事業の認可を受けた保育所等が事業を開始する。

### 質疑のポイント

**問** こども誰でも通園制度と一時預かり事業の違いは。利用の区別を想定しているか。

**答** こども誰でも通園制度は、家庭では経験できない体験活動などを通じて、こどもの育ちを応援する制度。これに対して一時預かり事業は、冠婚葬祭など保護者の都合で利用する事業。こども誰でも通園制度の利用時間を超えて利用を必要とする場合は、一時預かり事業の利用が想定される。



## 新規就農者育成総合対策事業

予算額:9265万円

拡充・一部新規

新規就農者等を含む多様な担い手の育成・確保の推進を図り、持続的な産地形成を図る。

### 質疑のポイント

**問** 親元就農支援給付金の補助要件はどうなっているのか。

**答** 本事業は、親の経営をそのまま継承する親元就農に対して支援を行うもの。対象者は、認定農業者等である親の後継者として親元就農する人。そのうえで、就農後は認定農業者である親と家族経営協定を結ぶこと等の要件を満たす必要がある。



## 中山間地域等直接支払制度事業

予算額:1億3813万円

中山間地域の耕作条件が不利な地域における農地活用の持続化と、農業生産の維持を通して農地の多面的機能を確保する。

### 質疑のポイント

**問** 令和8年度に本事業に取り組む集落協定数は、136集落と相当数減っているが、原因や要因の分析は行ったのか。

**答** 農業従事者の高齢化や、集落内における事務の担い手不足が大きな要因と認識している。令和8年度にはこれまで参加した197集落を対象にアンケート調査を行い、対策を考えたい。



## 南中学校校舎整備事業

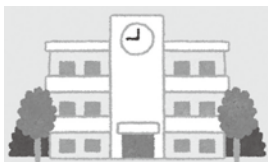
令和7年度八女市一般会計補正予算（第6号）  
繰越明許費補正:7238万円

令和9年4月の南中学校及び筑南中学校の合併に向けて、南中学校の内部改修工事等（空調・トイレ・教室改修等）を行い、教育環境を整えるもの。

### 質疑のポイント

**問** 南中学校の教室数は足りているのか。

**答** 南中学校の教室数については、令和8年4月時点では足りているものの、令和9年度には不足が見込まれるため、令和8年度中に教室の整備を実施したい。



## 有害鳥獣対策事業

予算額:1億6322万円

拡充

有害鳥獣による農林産物の被害及び生活環境への被害が拡大しており、有害鳥獣捕獲員による捕獲活動への支援や侵入防止柵等の支援を行うもの。令和8年度から捕獲した鳥獣を一時保管する施設の整備や鳥獣の焼却処分を行う。

### 質疑のポイント

**問** 鳥獣一時保管施設として、プレハブ冷凍庫4か所の設置が予定されているが、いずれの地域も同意は取れているのか。

**答** 現在、各地域に相談しながら協議を進めている状況であり、まだ全ての同意は取れていない。



## 条例の制定・改正

条例とは、地方公共団体が自主的に制定するルールであり、法律等に違反しない範囲で定めることができます。条例は、法令の定めをもとにするものや、地域の特性やニーズに基づいて、住民の生活をより良くするために作られるものなど様々なものがあります。条例を制定・改正・廃止するには、議会での議決が必要です。

### 議案第5号

### 八女市手数料条例の一部を改正する条例の制定 について

可決

#### 改正の内容や理由・背景

コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付サービス（以下「コンビニ交付サービス」という。）による各種証明書発行は、市民の利便性向上と個人番号カードの普及を目的に進めてきた。コンビニ交付サービスの更なる周知と利用促進を図るため、コンビニ交付サービスを利用した証明発行手数料を、令和8年度に限り、1通10円にする。

また、コンビニ交付サービスのうち納税証明書は、市県民税のみを対象としているが、その理由は複数の税目記載を求められることも多く、納付直後は証明書に反映できないことから、窓口交付でしか対応できないことが多い。さらに地方公共団体情報システム標準化に伴い、サービスの維持が困難になったことから、納税証明書のコンビニ交付サービスを廃止する。

#### 反対討論（森議員）

コンビニ交付サービスの証明発行手数料を10円にすることは、マイナンバーカードの利用促進のための国からの誘導である。また、納税証明書のサービス廃止は、あまりにも導入を急ぎすぎた結果、これらの欠陥を見過ごしていたのではないかと懸念される。さらに地方公共団体情報システム標準化に伴う、サービス維持の困難さや経費増は、八女市の問題というよりも、国がITエンジニア不足などの現状を無視し、全国の自治体を振り回している現状である。これらの理由により、本案に反対する。

### 議案第9号

### 八女市国民健康保険税条例の一部を改正する 条例の制定について

可決

#### 改正の内容

令和8年度の国民健康保険税から「子ども・子育て支援納付金分」を追加する。

#### 改正の理由・背景

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、子ども・子育て政策を強化する財源の一部を賄うため、令和8年度から毎年度、医療保険者から子ども・子育て支援納付金を徴収することが規定されたことに伴い改正するもの。

#### 反対討論（森議員）

医療保険は病気やケガをした時など、必要な医療を受けられるよう備える制度である。「子ども・子育て支援納付金分」は、制度の目的と関係がない子育ての費用を医療保険に上乗せして徴収するというものである。どう考えても論理的な説明がつかない。

#### 賛成討論（高橋議員）

国による制度設計のプロセスや手続きには問題を感じる。しかし、将来を担う子どもや子育て世代に投資するという観点から、厳しい運営を余儀なくされている国民健康保険税を値上げすることは、やむを得ない改正であると判断する。

## 議案第29号 令和8年度八女市一般会計予算

可決

### 反対討論（森議員）

戸籍住民基本台帳費において、令和8年度のコンビニ交付手数料を10円にすることは、市民の負担軽減ではなくマイナンバーカード普及と交付率向上が目的であり、任意のはずのカード保持者のみを極端に優遇する施策は行政の平等性に欠け、納得しがたい不公平な格差である。また、人権・同和政策費において同和団体に対する補助金が減額されたことは一定評価できるが、同和地区の特別扱いは直ちに止めるべきである。

次に、児童給付費と児童福祉費については、旧八女市内で希望する保育所等に入所できない児童がいる現状に対し、早急に対策を講じるべきであり、近隣自治体が高校生まで医療費を無料化している中、八女市も同様に無料化すべきである。また教育総務費については、長年の運動により令和8年度から小学校給食への国・県補助が始まることを受け、ほとんどの近隣自治体が無償化に踏み切る中、八女市が小学校給食の無償化を見送ったことは納得しがたい。

### 賛成討論（原田議員）

令和8年度一般会計予算案は、総額479億円と過去最大規模の積極予算である。市民との対話を反映し、生活基盤の整備や人口減少対策など創意工夫あふれる施策が並んでいる。中学生までの医療費無償化や「こども誰でも通園制度」の導入といった重層的な子育て支援に加え、学校給食の質の向上や学校体育館への空調設置など教育環境の充実が図られた。経済・産業面では、八女茶の海外販路開拓支援や起業を促進する「ローカル10000プロジェクト」など地域活性化に向けた新たな挑戦が評価できる。本予算案は、山積する諸課題に対し効率的な財源確保に努めつつ、市民生活の向上と地域経済の活性化に大きく寄与するものと確信し、賛成する。

## 議案第30号 令和8年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算

可決

### 反対討論（森議員）

令和8年度より高校生以下の均等割免除等が実施される一方、新たに「子ども・子育て支援納付金分」が加わるなど制度は複雑化を極め、実質的な値上げとなっている。令和8年度の賦課限度額は、新設分を含め計4万円引き上げられ、113万円に達する見込みである。国保特有の均等割・平等割により負担は異常に重く、その根本原因は国庫負担率が50%から25%へ半減した点にある。加入者の負担は既に限界を超えている。

## 議案第32号 令和8年度八女市後期高齢者医療特別会計予算

可決

### 反対討論（森議員）

後期高齢者医療制度は、無収入でも均等割が徴収され、一生涯保険料を払い続ける仕組みである。窓口負担は最大3割に増え、令和8年度の賦課限度額は5万円引き上げられる。さらに「子ども・子育て支援納付金分」の2万1000円が加わることで、限度額は一挙に7万1000円増の合計8万1000円に達する。医療費や後期高齢者増に伴い、際限なく負担が増える可能性がある。先進国の医療制度と比較して、高齢者を別枠とする異常な制度である。